

食防災教育授業 指導案（C校）

1. 題材

非常用持ち出し袋の中身を考えよう

2. 題材について

災害時に備えて、非常用持ち出し袋は重要な役割を果たす。しかし、非常用持ち出し袋の中身は個人によって用意するものが異なり、一様ではない。自然災害の多い日本において、自分の非常用持ち出し袋の中身についていて考え、用意しておくことは非常に重要である。その手立ての一つとして、児童が一般的な非常用持ち出し袋の中身を知り、災害時に備えて自分が必要なものを考えることのできる技能を育てることを提案し、本題材を設定した。

3. 食育の視点

災害時に備えて非常用持ち出し袋の中身を考える。＜食品を選択する能力＞

4. 学習内容の目標

- ・災害時に役立つものを知る。（知識・技能）
- ・自分に必要な非常用持ち出し袋の中身を考えることができる。（思考力・判断力・表現力）

5. 本時の流れ

ねらい	児童の活動	指導上の支援（●） 留意点（○）	教材
日本は災害の多い国 という事を知る	・災害時には避難が必要な場合があることを知る。		PPT
【めあて】 非常用持ち出し袋の中身を考えよう			
非常用持ち出し袋について知る。	・非常用持ち出し袋に入っていると役立つと思う物品を考える。	○非常用持ち出し袋とは何かを伝える。 ○必要な食料備蓄量を伝える。	非常用持ち出し袋
非常用持ち出し袋の中身を考える。	＜グループ活動＞ 家族のメンバーに必要なものを備蓄アイテムカードから選び黒板で説明（なぜそれが必要なのか等）をする。（グループ活動→学級全体）	●祖父と妹（乳児）には特別な配慮がいることを考慮させる。 ○備蓄アイテムカードをロイロノート上に各グループに配る。大きいプロフィールカードと	ロイロノート ワークシート プロフィール 備蓄アイテムカード

食防災教育授業 指導案（C校）

まとめ	授業の振り返りをする	備蓄アイテムカードを 黒板にも貼る。 ○すべての班の結果が 共有できるように写真 を撮っておいて最後 にはテレビに映す。 ロイロノートが使用 できれば、テレビで共有 する。 ○衛生を保つために役 立つものを紹介する。	
-----	------------	---	--

食防災教育授業 指導案（C校）

1. 題材

パッククッキングについて知ろう

2. 題材について

大災害が発生すると、電気、水道、ガス（都市ガス）といったライフラインは、大災害発生直後に停止し、利用が困難になる。普段の調理はライフラインを使用して行われるため、災害時は普段とは異なる調理方法が必要となる。災害に備え、ライフライン遮断時の調理・食事について考えることは、災害時に食事によって健康を維持するために重要である。

よって本時では、ライフライン遮断時の調理の 1 つであるパッククッキングを通して、災害時の食事について考えることを目標とした。

3. 学習内容の目標

- ・ライフラインが止まると普段の調理が困難になることを知る（知識・技能）
- ・災害時におけるパッククッキングの利点を考える（思考力・判断力・表現力）

4. 本時の流れ

ねらい	児童の活動	指導上の支援（●） 留意点（○）	教材
災害時の調理について知る。	・ライフラインが止まった時にできなくなることを知る。 （電気、ガス、水道が止まった時に何が使えなくなるかを考える。）	○いつもと同じ食事がとれなくなることに気づかせる。	
【めあて】 パッククッキングについて知ろう			
パッククッキングについて知る	・パッククッキングの方法を知る 一使える袋と使えない袋の違いについて考える。	●栄養教諭がパッククッキングを実演する。 ○様々な種類の袋を準備し、パッククッキングに適している袋の見分け方を伝える。	・鍋 ・カセットコンロ ・米、人参、水 ・ポリ袋

食防災教育授業 指導案 (C 校)

まとめ	・パッククッキングの利点を知る。 普段の食事、レトルト食品などの備蓄食品とパッククッキングで調理した食事の違いを考える。 ・授業の振り返りをおこなう。	○調理実習や防災給食と結びつける。 ○パッククッキングによって災害時でも温かい食事をとることができることを伝える。	・ワークシート
-----	--	---	---